

春の交通安全運動が始まります

～ 交通ルール 守るあなたが 守られる ～

4月6日（日）から15日（火）までの10日間は、春の交通安全運動期間です。この運動は、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的として毎年開催しているものです。

町は、子どもと高齢者の交通事故防止を運動の基本とするほか、次の4点を運動の重点として交通安全運動を進めていきます。

運動の重点

- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）
- ・飲酒運転の根絶
- ・道路の正しい横断の励行



運動期間中は、平日の午前7時40分～8時15分（子どもたちの通学時間）を目安に各地区の通学路等で街頭指導を行います。

また、4月17日には七ヶ宿小学校で交通安全教室が開催されます。関駐在所長や先生方の指導の下、自転車利用時の正しいマナーや、実際に町内を歩いて交通ルールを学びますので、みなさまのご協力をお願いします。

【平成25年度の活動の様子】



交通安全街頭キャンペーン



七ヶ宿町交通安全対策協議会

【七ヶ宿町内の交通事故状況（H26.3.25現在）】

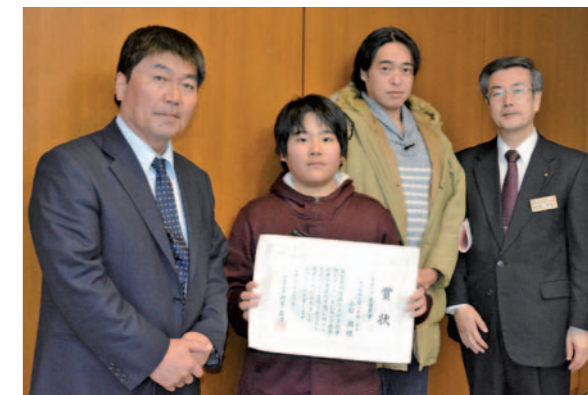
関地区字下町尻地内の内川橋において、車同士の衝突事故がありました。

<<事故を起こさないために>>

- ・緊張感の欠如による事故が多いことから、十分な車間距離、安全な速度による走行を心がけましょう。
- ・交差点付近を横断する歩行者や自転車に注意しましょう。
- ・夕暮れ時はヘッドライトの早めの点灯、ハイビームとロービームの使い分けを心がけましょう。

みやぎ仕事作文コンクールで小松潤君が最優秀賞

2月13日、関小学校の^{こまつうるう}小松潤君がみやぎ仕事作文コンクール小学校の部で最優秀賞を受賞しました。このコンクールは宮城県内の小学校から高校までの児童・生徒が仕事や職業に関して書いた作文を集めたもので、今年は小・中・高併せて87校、1,310編の作品が応募されました。潤君は『農業』というタイトルで作品を応募し、小学校48校、650編の中から最優秀賞に選ばれました。以下作品を転載。



左から関小学校高橋隆校長、小松潤君、小松剛也さん、宮城県教委次長熊野充利さん

『農業』 小松 潤

ぼくの将来の夢は、地元の七ヶ宿で農業をすることです。ぼくはもともと、植物に興味があるし、育てるのも好きです。また、七ヶ宿は、「水守の郷」と呼ばれています。七ヶ宿ダムがあり、仙南地区から塩がま地区までの水をまかっています。七ヶ宿は森林も豊富です。森林が豊富なところは、土も豊かです。豊かな土が豊かな水を作り、豊かな空気も作ります。そんなすばらしい七ヶ宿で体にいい野菜を作りたいです。



社会の授業で、今は食物アレルギーの人がふえているということを勉強しました。食物アレルギーの原因はいろいろあるみたいだけれど、農薬もその一つなのではないかと思います。だから、ぼくは、農薬はできるだけ使わないで野菜を作っていきたいです。

ぼくは、将来農業をしてまず最初に作りたい野菜はピーマン、トウモロコシ、にんじん、ネギです。給食の時間にピーマンが苦手な人が結構いることを知りました。苦手な人でも食べられるピーマンをつくるのができたら、大人気になるんじゃないかと思います。

また、野菜だけでなく、お米も作りたいです。七ヶ宿には「やまのしずく」というブランド米があります。ぼくたちのクラスでも今年やまのしずくを栽培しました。四月に種をまいて、田植え、雑草取り、稲刈り、脱穀などを体験しました。ごはんとして食べられるまでには大変な手間をかけなければいけないということもわかりました。作った米をコンテストに出したところ、見事金賞を取ることができました。

ゆめをかなえるために、農業の仕事や農業の機械の使い方に慣れ、七ヶ宿の環境を守っていく努力が必要だと思います。

ぼくは、作った野菜やお米を家族だけではなく、地域の人や、日本全国の人に食べてもらいたいと思います。時には自分で作った野菜などを家族と食べてみたいと思います。

七ヶ宿の土地で旬の野菜やお米を作り育ててみんなが幸せになれるといいなと思います。自然と仲良くふれあいながら、実りある農業ができるように、その道に向かって努力していきたいです。